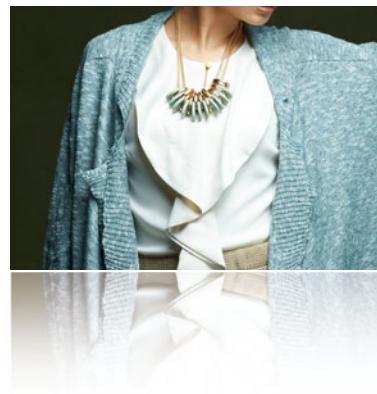


株主のみなさまへ

第55期第2四半期 営業のご報告

2015年4月1日～2015年9月30日

- 1 社長メッセージ
- 5 中期経営計画
- 7 事業別のご報告
- 9 お客様事例
- 11 連結財務諸表
- 13 会社概要
- 14 株式概要



「ホールゲームメント®開発20年」を迎え、 産業革命に匹敵するイノベーションを起こしてまいります

Q 上半期(2015年4月~9月)の業績について説明してください。

A 各地域に密着した提案型の営業活動に注力しました。

ホールゲームメント横編機開発20年の節目となる今年度の上半期、当社グループは世界各地のユーザーニーズに応えるべく、顧客密着型の提案活動を展開しました。上半期の連結売上高は、225億13百万円(前年同期比12.7%減)となりました。

一方、利益面については、売上総利益が前年同期並みだったものの、販売費及び一般管理費における人件費の増加に加え、貸倒引当金繰入額を増額したことなどにより、営業利益は19億92百万円(同34.5%減)、経常利益は24億

代表取締役社長
島 正博

将来の見通しについて

本報告書に記載されている将来に関する予測については、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて行った予測であり、実際の業績は、さまざまな要素により、これらの予測とは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

Ever Onward — 限りなき前進

当社は、「手袋編機の全自動化」という難課題を実現するため、現社長・島正博が1962年に創立しました。「Ever Onward—限りなき前進」を経営理念に掲げ、常に新しい技術の開発を目指して、惜しみない努力と未知なる領域への挑戦を続けてまいりました。

創業以来、時代のニーズを先取りした横編機やデザインシステムを次々と開発し、世界のトップメーカーへと成長。90年代には、「産業革命に匹敵する」と評された無縫製型の「ホールガーメント®横編機」の開発に成功しました。

今後も新たな技術開発へのチャレンジを続けながら、企画提案型のビジネスモデルの浸透を図り、アパレル産業のみならずさまざまな産業の発展に貢献してまいります。

37百万円(同44.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億21百万円(同46.0%減)の減益となりました。

Q 事業分野別の状況と主な取り組みについて説明してください。

A アジア市場が全体を牽引、先進国では自国生産向けの需要が広がりました。

コアビジネスの横編機事業では、前年同期に比べるとペース

ダウンしたものの、バングラデシュやASEAN諸国でコストパフォーマンスに優れた「SSR®」や、さらに生産効率を高めた「SVR®」を中心に販売が進みました。中国市場では、SPA(製造小売)型メーカーの拡大など国内需要に向けた新しい動きが見られましたが、製品輸出の減少や人件費上昇など厳しい事業環境が続いており、設備投資は減少しました。欧州向け生産拠点のトルコにおいては回復基調となり、「SVR」を中心に売上が伸張しました。先進国市場で

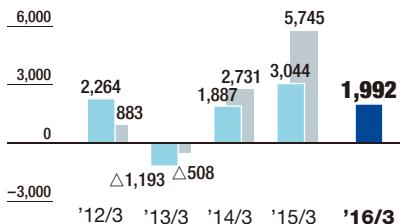
売上高

(百万円)



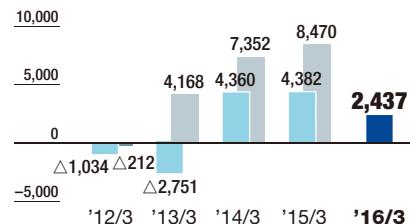
営業利益・損失(△)

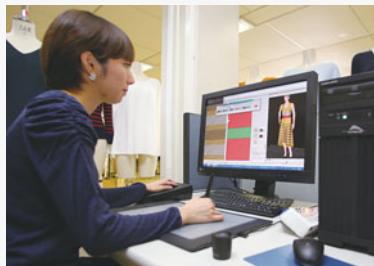
(百万円)



経常利益・損失(△)

(百万円)





は、ファッションの中心地イタリアで織物のような風合いのニットが編成できる「SRV®」の販売が伸びたほか、自国生産の動きが見られる米国でも新規顧客が増加しましたが、横編機事業全体としては前年同期の売上高を下回りました。

デザインシステム関連事業では、「SDS®-ONE APEX3」の出荷台数が伸張しました。国内を中心にデザインツールとしての活用もさらに広がり、アパレル企業やテキスタイル、インテリア、ファッション専門学校など幅広い業界に販路を広げました。自動裁断機「P-CAM®」も、機種種のバリエーション拡充により自動車関連、産業資材関連などアパレル分野以外への導入が進みました。

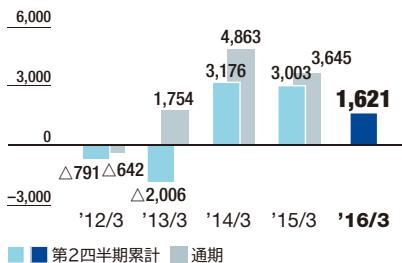
Q 下半期以降の取り組みについて説明してください。

A ITMA展を契機に、ホールガーメント横編機を全世界にアピールしていきます。

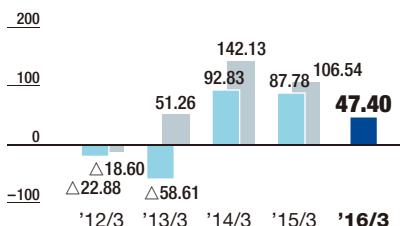
この11月にイタリアのミラノで開催された世界最大の国際繊維機械見本市ITMA展において、当社は世界で初めて可動型シンカー装置を搭載した4枚ベッドのホールガーメント横編機「MACH2®XS」をはじめ、デザインシステムや自動裁断機など独自技術を駆使した製品を全世界のユーザーに訴求しました。

ITMA展以降も高い製品力をベースに、各地域の顧客ニーズに合わせたきめ細かな提案活動を積極的に展開していきます。

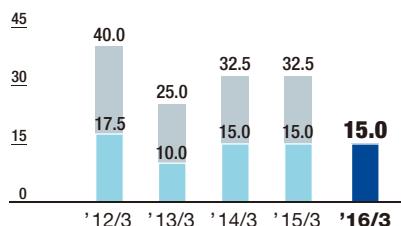
四半期(当期)純利益・損失[※](△)(百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益・損失[※](△)(円)



1株当たり配当金 (円)



※2016年3月期は「親会社株主に帰属する四半期純利益」

特に先進国市場では引き続き「MACH2XS」と「SDS-ONE APEX3」の連携による、革新的な「消費地型生産」のもの創りを提案し、新たな成長ステージへと引き上げていく考えです。なお、当期の通期業績予想については、売上高510億円、営業利益70億円、経常利益75億円、親会社株主に帰属する当期純利益50億円を計画しております。



実現していくための3つのキーワード「愛」「創造」「氣」と、10年後のビジョンからなる長期経営方針をもとに策定したものです。創業50余年を経たシマセイキが次なる50年に向け、世界規模で変化する事業環境の中でさらに企業価値を高めるべく、持続的成長を目指していきます。

当社は今後もホールガーメント横編機とデザインシステムを核とする「トータルファッションシステム®」によるもの創りの提案により、全世界にビッグイノベーションを起こすとともに、未来を見据え、社会に貢献できる新たなソリューションの創出に努めてまいります。株主の皆様には、引き続き温かいご理解とご支援をお願いいたします。

Q 中長期の展望と、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 次なる50年に向けて「中期経営計画」を発表しました。

当期の株主の皆様への中間配当金は、1株につき15円で実施させていただきました。期末配当金については、普通配当20円にホールガーメント開発20年の記念配当として2円50銭を加えた22円50銭とし、年間配当金は1株につき37円50銭とさせていただく予定です。

また今年8月、中期経営計画「Ever Onward 2017」を発表しました。(詳細は次ページ参照)

同計画は、経営理念「Ever Onward— 限りなき前進」を

Column 島社長が「企業家大賞」を受賞

当社社長・島正博が、「第17回(2015年)年間優秀企業家賞」において企業家大賞を受賞しました。

同賞は年間を通して顕著な活躍をした創業経営者に贈られるもので、経営誌「企業家倶楽部」などが主催しています。過去にはファーストリテイリングの柳井正会長兼CEOやソフトバンクの孫正義社長、楽天の三木谷浩史会長兼社長、ジャパネットたかたの高田明代表などが受賞されています。(肩書きは受賞時)

今回の受賞は、世界のファッション界をリードする技術開発に常に挑戦し、もの創り日本の技術力の高さを世界に示している点が評価されたものです。



中期経営計画「Ever Onward 2017」概要

当社は「次の50年」へ向け、直面するさまざまな課題に取り組み、さらに企業価値を高めるべく、中期経営計画「**Ever Onward 2017**」を策定しましたので、ここにその概要をご説明いたします。

1. 長期経営方針

中期経営計画は、次の「経営理念」と「10年後のビジョン」をもとに策定いたしました。

(1) 経営理念

Ever Onward — 限りなき前進

私たちは「愛」「創造」「氣」を合言葉に「**Ever Onward — 限りなき前進**」を掲げ、事業の持続的発展により、「世の中になくなくてはならない企業」になることを目指してまいります。

「愛」 私たちは、仕事を愛し、人を愛し、国や地域を愛し、地球を愛することを通じて、人や環境にやさしい「もの創り」を目指し、社会に貢献します。

「創造」 私たちは、高感度・高感性で創造力を発揮し、世の中に無い魅力的なものを創り出すことを目指します。

「氣」 私たちは、何ごとにも、成し遂げる“氣”を持って挑戦し、製品やサービスに魂を込め、未来を切り開いていきます。

(2) 10年後のビジョン

当社の持つ技術が世界中に波及し、魅力あるファッション製品の「もの創り」のスタンダードになっていること。また、当社のコア・コンピタンスが、ファッション製品以外の業界にも貢献できる、新たな成長ステージを創造し、感性情報型企業へ進化していくことを10年後のビジョンとします。

2. 中期経営計画の概要

(1) 位置づけ

創業から50余年を経た当社では、今回策定しました「中期経営計画」を、「次の50年」の企業成長の礎を築く「**基盤強化**」フェーズとして位置づけています。

環境配慮型経営を推進し、持続的な成長を実現するための経営基盤の強化を図るとともに、過去最高益の更新を目指して、抜本的な経営施策を全社的に展開します。



(2)基本方針

- ① 当社の提唱するトータルファッションシステム®により、もの創りの変革を推し進め、ファッション業界の発展に寄与する。
- ② コアビジネスで培ったリソースを活用して新たな市場を創造するとともに、社会に貢献できるビジネスソリューションを提供する。
- ③ 現在の業務内容を原点に立ち返ってすべて見直し、新たなビジネスモデルを再構築する。

(3)目標

中期経営計画の実行により収益性を高め、将来の事業投資・株主還元へ向けた財務の健全性・柔軟性の向上を目指します。

	2014年度(連結実績)	2017年度(連結目標)
売上高	483億円	700億円
営業利益	57億円	150億円
経常利益	84億円	150億円
当期純利益	36億円	100億円
R O E	3.8%	8.5%

(4)重点施策

中期経営計画において、次の4つの成長戦略を掲げ、経営資源の選択と集中を推進し、企業価値の向上を図ります。

横編機事業の最強化

ホールガーメント®横編機を核とした革新的なマーケティング手法の提案強化などにより、顧客満足度をさらに高め、コアビジネスである横編機事業をより一層強靱なものにする。

独自性をもった事業範囲の拡大

ホールガーメント技術など当社独自の技術を活用し、非衣料市場への横編機事業の展開や自動裁断機事業の強化など、革新的な事業の創出、差別化戦略を推進する。

収益構造の改革

アフターセールス強化などの収益源の多様化、営業キャッシュフローの改善など、事業・業務の抜本的な見直しにより、持続可能な収益源の確保と戦略的なコスト削減を進める。

経営基盤の強化

創造力のある人材・多様性のある人材の採用・育成など、人材面を中心に、全般的な経営資源の整備を進めるとともに、CSRをさらに重視した経営体制を構築する。

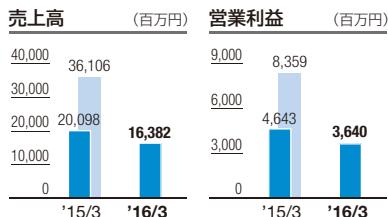
(5)利益還元方針

当社は、事業の持続的発展を通じて、すべてのステークホルダーに対して貢献してまいります。

そのうえで、株主に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして位置づけ、長期的視点から事業の成長を図るとともに、業績に裏付けられた成果の配分を安定的かつ積極的に行うことを基本方針といたします。



横編機事業



世界トップの技術力を誇るコンピュータ横編機を製造・販売する当社の主力ビジネス。一着丸ごと立体的に編み上げるホールガーメント®横編機、ループプレッサーを備えた「SRY®」、充実した編成を可能にする「SVR®」、コストパフォーマンスに優れた「SSR®」など、独自の開発力を活かした豊富なラインアップを展開しています。

市場拡大が続くバングラデシュやASEAN諸国では、コストパフォーマンスに優れた「SSR」や、さらに生産効率を高めた「SVR」を中心に販売が進みました。中国市場は、アパレル消費需要が拡大しているものの、製品輸出の減少や人件費上昇など事業環境は厳しく、設備投資は減少しました。

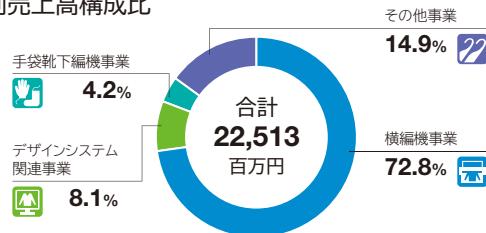
近年停滞していたトルコ市場は、第2四半期に入り「SVR」を中心に設備投資が回復しました。

先進国市場では、イタリアで織物のような風合いのニットが編成できる「SRY」の販売が伸びたほか、英国、スペイン、米国などでも自国生産の機運の高まりとともに、上位機種の販売が増加しました。

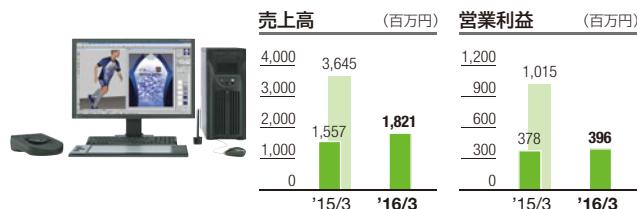
また、国内市場で新製品「MACH2®XS」を海外に先駆けて浸透させましたが、全体として設備投資は低調となりました。

これらの結果、横編機事業の売上高は163億82百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

事業別売上高構成比



デザインシステム関連事業



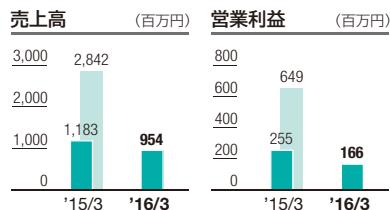
アパレル業界をはじめ、さまざまな業界のもの創りを支援するデザインシステムを提供。バーチャルサンプルや三次元シミュレーションなど、多彩なデザインを可能にすると同時にリードタイムの短縮とコスト削減を実現。また、自動裁断機による異業種への展開も積極的に進めています。

デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」は、国内・海外とも出荷台数を伸ばしました。特に国内では、高精細なバーチャルサンプルを短期間・低コストで作成できるデザインツールとしての販売がさらに伸張し、テキスタイルやインテリアなどニット以外の産業のほか、ファッション専門学校などへも販路を広げました。

また、自動裁断機「P-CAM®」も国内を中心に販売が拡大しました。顧客ニーズに合わせて機種のパリエーションを増やしたことでアパレル分野以外への導入も増加し、自動車内装部品やインテリア関連のほか炭素繊維などの産業資材分野でも引き続き売上が増加しました。

これらの結果、デザインシステム関連事業の売上高は18億21百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

手袋靴下編機事業

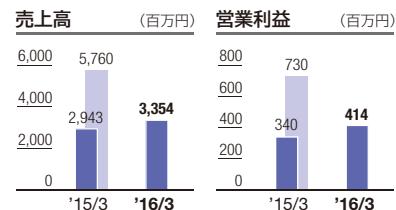


当社技術開発の原点である手袋編機、靴下編機の製造・販売。ファインゲージ化も進め、医療用など高付加価値分野への対応を強化しています。

為替の改善に加え、当社製品の耐久性や生産商品の品質などが再認識されたことで国内外の大手メーカーからの受注が回復基調にありましたが、今期に入りやや減速しました。

これらの結果、手袋靴下編機事業の売上高は9億54百万円(前年同期比19.4%減)となりました。

その他事業



当社編機・システム機器のメンテナンス部品の販売や修理・保守、高級カシミア糸やニット製品の販売などの事業を行っています。

部品販売、メンテナンスサービスは堅調に売上を拡大しました。子会社による紡績事業も、世界的なカシミアブームを背景に、糸・製品とも好調に販売を伸ばしました。

これらの結果、その他事業の売上高は33億54百万円(前年同期比14.0%増)となりました。

Column

海外展開の起点、シマセイキヨーロッパが設立30周年

当社グループの欧州現地法人「シマセイキヨーロッパ (SHIMA SEIKI EUROPE LTD.)」がこのたび設立30周年を迎えました。

同社は1985年9月、初の海外現地法人として英国ロンドンの北西70kmにあるミルトン・キーンズに設立。当時、海外販売比率が50%を超えようとしていた当社は、世界のお客様のニーズにきめ細かく対応すべく海外拠点の強化を図っており、その先駆けとなったのがシマセイキヨーロッパでした。現在同社は英国国内のダービー州に移転し、欧州市場におけるビジネス拠点の軸として活動を続けています。



シマセイキヨーロッパ(1985年)



設立イベント時の島社長



お客様事例：佐藤繊維株式会社様

ニット糸とニット製品で 世界に挑み続ける佐藤繊維

独自のニット糸製造で世界的に有名な佐藤繊維様は、シマセイキの横編機を活用したニット製品事業でも展開を進めています。今年、ホールガーメント®横編機の新製品「MACH2®XS」を導入し、ホールガーメントの専用工場も新設。同社の「もの創り」にかける想いを、佐藤社長に伺いました。

佐藤繊維株式会社

山形県寒河江市に本社を置く、
ニット糸とニット製品のメーカー。
原料からの一貫生産を推進し、
自社ブランド「M.&KYOKO」など
を世界に発信しています。

公式HP: <http://satoseni.com/>

通信販売サイト: <http://shop.mkyoko.com/>

セレクトショップ「GEA」: <http://www.gea.yamagata.jp/>



糸の製造からニット製品の販売まで、すべて自社で手掛ける

紡績工場

世界中から集めた良質な原料から高品質で多種多様なニット糸を製造。紡績機は40年以上前から使われているものも多く、あえて古い機械を駆使することにより、他にはない細さや風合いを表現しています。



ホールガーメント専用工場

国内生産の機運が高まってきたことを踏まえ、同社は今年、ホールガーメント横編機の専用工場を新設しました。ホールガーメントは国内で人員確保が難しいリンキング工程を省けることで大幅な生産効率化も図れます。現在は約30台が稼働中ですが、今後100台以上に拡大できるスペースを確保しています。



セレクトショップ

本社併設のセレクトショップ「GEA (ギア)」は、築100年の石造りの建物を改装して2015年4月にグランドオープン。ニット製品からファッションアイテムまで、自社ブランドや海外から厳選して集められた商品などを展示販売しています。



世界にないニットを シマセイキとともに作り続けていきます。

佐藤繊維株式会社 代表取締役社長 佐藤 正樹様

ニット系で世界のトップブランドに認知されています

当社は85年前、私の曾祖父が始めた牧羊を原点に、祖父の時代に紡績業を開始。その後、ニット製品分野にも進出し、素材から製品までの一貫生産による「オンリーワン」のもの創りを目指してきました。

ニット系において、国内はもちろん欧米のトップブランドでの認知も深まり、世界の有名アパレルブランド製品に当社の糸が採用されています。

トレンドを追わず、独自の製品を発信しています

オリジナルのもの創りで大切なのは、流行を追わずに「自分がつくりたいモノ」を発信すること。ニット製品事業においてもトレンドは追わず、「どうしたら新しいものが編めるか?」と常に考え続けています。

販促面でも糸の原料選びからこだわり、製品に込められたもの創りに対する自分たちの考えを、そのバックストーリーとともに、消費者に訴求しています。今はネットで幅広い情報発信ができる時代。当社製品が、トレンドに飽き足らない消費者のニーズとマッチングできる機会が広がったことで、多くの機械がフル稼働しています。

シマセイキの機械とともに進化し続けていきます

シマセイキの機械には、大きな可能性が秘められていると実感しています。機械の持つ無限の可能性を引き出し、形にしていくことで「オンリーワン」のもの創りが実現します。ホールゲーム横編機も、以前は不可能だったことがどんどんできるようになってきました。「限りなき前進」を実践するシマセイキと同様、当社もニット系の可能性をさらに引き出し、シマセイキの機械とともにこれからも新しいもの創りを追求していきます。

ニット系で世界のトップアパレルに認めていただいています。ニット製品でも日本の「文化」として高く評価されるものを発信していきたいと考えています。



取材を終えて

デザイン提案に始まり、小ロット、ハイクオリティのニットで勝負する佐藤社長の経営姿勢や情熱は、当社が提唱する一貫したもの創りと重なるものがありました。山形から世界に発信されている佐藤繊維様と同様に、当社も和歌山から世界に発信し、イノベーションを起こし続けていきます。

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末	前第2四半期末	前期末	科 目	当第2四半期末	前第2四半期末	前期末
	2015年9月30日現在	2014年9月30日現在	2015年3月31日現在		2015年9月30日現在	2014年9月30日現在	2015年3月31日現在
流動資産	87,589	85,337	88,104	流動負債	18,132	19,135	20,050
現金及び預金	11,254	13,706	14,512	支払手形及び買掛金	5,285	5,606	6,384
受取手形及び売掛金	54,907	52,226	52,578	短期借入金	6,250	6,501	6,250
その他	22,903	20,777	22,309	その他	6,596	7,027	7,415
貸倒引当金	△ 1,475	△ 1,372	△ 1,295	固定負債	8,648	7,984	8,756
固定資産	37,982	38,091	38,882	長期借入金	5,000	5,000	5,000
有形固定資産	19,816	20,060	20,013	その他	3,648	2,984	3,756
土地	10,892	10,814	10,891	負債合計	26,780	27,119	28,807
その他	8,923	9,246	9,122	株主資本	103,675	102,529	102,653
無形固定資産	4,923	4,957	5,157	資本金	14,859	14,859	14,859
のれん	4,813	4,851	5,040	資本剰余金	21,724	21,724	21,724
その他	110	106	116	利益剰余金	73,998	72,850	72,975
投資その他の資産	13,242	13,072	13,711	自己株式	△ 6,907	△ 6,904	△ 6,906
投資有価証券	7,931	7,863	7,735	その他の包括利益累計額	△ 5,078	△ 6,414	△ 4,668
その他	9,625	6,680	9,645	その他有価証券評価差額金	747	567	835
貸倒引当金	△ 4,314	△ 1,471	△ 3,668	土地再評価差額金	△ 7,004	△ 7,007	△ 7,004
資産合計	125,571	123,428	126,987	為替換算調整勘定	1,007	△ 309	1,311
				退職給付に係る調整累計額	170	333	188
				新株予約権	180	180	180
				非支配株主持分	14	13	14
				純資産合計	98,791	96,309	98,179
				負債純資産合計	125,571	123,428	126,987

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計	前第2四半期累計	前期
	2015年4月1日から 2015年9月30日まで	2014年4月1日から 2014年9月30日まで	2014年4月1日から 2015年3月31日まで
1▶ 売上高	22,513	25,784	48,354
売上原価	12,026	14,531	26,488
売上総利益	10,486	11,252	21,865
販売費及び一般管理費	8,493	8,208	16,120
2▶ 営業利益	1,992	3,044	5,745
営業外収益	685	1,510	3,333
営業外費用	240	172	607
3▶ 経常利益	2,437	4,382	8,470
特別利益	146	61	97
特別損失	10	38	1,562
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,573	4,406	7,006
法人税、住民税及び事業税	908	1,382	2,926
法人税等調整額	43	19	432
四半期(当期)純利益	1,622	3,003	3,646
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	0	0	0
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,621	3,003	3,645

POINT

1▶ 売上高

横編機事業では、中東のトルコで売上が増加したものの、バングラデシュやASEAN諸国において販売が伸び悩みました。手袋靴下編機事業においても、受注は回復基調にありましたが、今期に入りやや減速しました。その結果、売上高は225億13百万円(前年同期比12.7%減)となりました。

2▶ 営業利益

売上総利益率は改善したものの、貸倒引当金繰入額や人件費の増加などで販管費率が増加し、営業利益は19億92百万円(前年同期比34.5%減)となりました。

3▶ 経常利益

前年同期に比べて為替差益が減少し、経常利益は24億37百万円(前年同期比44.4%減)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計	前第2四半期累計	前期
	2015年4月1日から 2015年9月30日まで	2014年4月1日から 2014年9月30日まで	2014年4月1日から 2015年3月31日まで
4▶ 営業活動による キャッシュ・フロー	△ 1,671	△ 2,903	△ 1,956
5▶ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 828	2,204	2,287
6▶ 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 827	△ 994	△ 1,966
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 22	332	980
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 3,349	△ 1,360	△ 655
現金及び現金同等物の 期首残高	13,164	13,819	13,819
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	9,814	12,458	13,164

4▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加や法人税等の支払いなどにより16億71百万円の資金の減少となりました。

5▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出などにより8億28百万円の資金の減少となりました。

6▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いなどにより8億27百万円の資金の減少となりました。

会社概要

会社概要(2015年9月30日現在)

商号	株式会社島精機製作所
(英文表記)	SHIMA SEIKI MFG., LTD.
本社	和歌山県和歌山市坂田85番地
創立	1962年2月4日
資本金	148億5,980万円
従業員数	1,248名(連結1,794名)
事業内容	コンピュータ横編機 コンピュータデザインシステム 自動裁断機 手袋靴下編機



本社ビル

事業所(2015年9月30日現在)

支店、テクニカルサービスセンター(TSC)

東京支店	(東京都中央区)
東京TSC甲府	(山梨県中巨摩郡昭和町)
東京TSC太田	(群馬県太田市)
東日本支店	(新潟県五泉市)
東日本TSC山形	(山形県山形市)
東日本TSC福島	(福島県伊達市)
西日本支店	(大阪市北区)
西日本TSC名古屋	(名古屋市中区)
西日本TSC泉州	(大阪府泉大津市)
西日本TSC四国	(香川県東かがわ市)

海外支店 台北支店 (台北市)

工場 本社工場 (和歌山県和歌山市)

役員(2015年9月30日現在)

地位	氏名	担当および重要な兼職
代表取締役社長	島 正博	営業本部長
取締役副社長	島 三博	営業本部副本部長兼経営企画部担当
常務取締役	和田 隆	生産本部長兼生産技術部、製造技術部、システム生産技術部担当
常務取締役	有北 礼治	開発本部長
常務取締役	梅田 郁人	営業本部副本部長兼島精機(香港)有限公司CEO
取締役	藤田 紀	総務人事部長
取締役	中嶋 利夫	トータルデザインセンター部長
取締役	南木 隆	経理財務部長兼物流部担当
取締役	西谷 泰和	資材部長
取締役	西川 清方	営業統括部長
取締役	一柳 良雄	株式会社一柳アソシエイツ 代表取締役&CEO
常勤監査役	植田 光紀	
常勤監査役	田中 雅夫	
監査役	新川 大祐	公認会計士・税理士
監査役	野村 祥子	弁護士

- (注) 1. 取締役一柳良雄氏は、社外取締役であります。
2. 監査役新川大祐、野村祥子の両氏は、社外監査役であります。

社外監査役 野村祥子氏のご紹介



のむら さちこ
野村 祥子
弁護士

2015年6月より、堂島法律事務所に所属する野村祥子氏が当社の社外監査役に就任されました。

弁護士として企業法務に関する豊富な知識・経験を有する同氏に、当社経営について法律的な観点から提言をいただくことで、ガバナンス体制をさらに強化していきます。

株式概要

株式の状況 (2015年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数…………… 142,000,000株
 ②発行済株式の総数…………… 36,600,000株
 ③株主数…………… 18,710名
 ④大株主

(千株未満切り捨て)

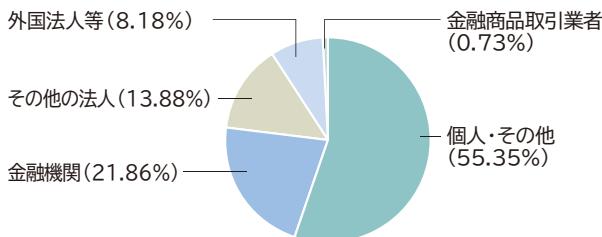
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
和島興産株式会社	2,870	8.39
株式会社紀陽銀行	1,310	3.83
エヌケイ興産株式会社	1,150	3.36
島正博	1,070	3.13
島三博	1,061	3.10
株式会社三菱東京UFJ銀行	880	2.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	797	2.33
合同会社和光	780	2.28
シマセイキ社員持株会	707	2.07
株式会社池田泉州銀行	700	2.05

(注)当社は、自己株式2,381千株を保有していますが、上記大株主から除外しています。
 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

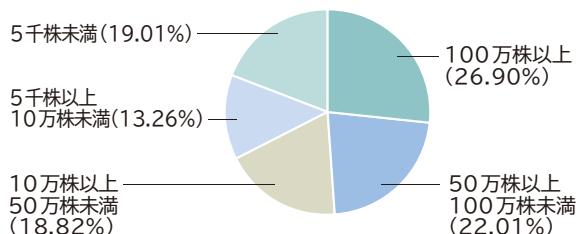
連結子会社(2015年9月30日現在)

株式会社シマファインプレス	(和歌山県和歌山市)
ティーエスエム工業株式会社	(和歌山県和歌山市)
株式会社海南精密	(和歌山県海南市)
東洋紡糸工業株式会社	(大阪府泉北郡忠岡町)
SHIMA SEIKI EUROPE LTD.	(イギリス)
SHIMA SEIKI U.S.A. INC.	(アメリカ)
島精機(香港)有限公司 (SHIMA SEIKI (HONG KONG) LTD.)	(中国)
SHIMA SEIKI ITALIA S.p.A.	(イタリア)
島精榮榮(上海)貿易有限公司 (SHIMA SEIKI WIN WIN SHANGHAI LTD.)	(中国)
SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U.	(スペイン)
東莞島榮貿易有限公司 (SHIMA SEIKI WIN WIN DONGGUAN LTD.)	(中国)
SHIMA SEIKI (THAILAND) CO., LTD.	(タイ)
SHIMA SEIKI KOREA INC.	(韓国)

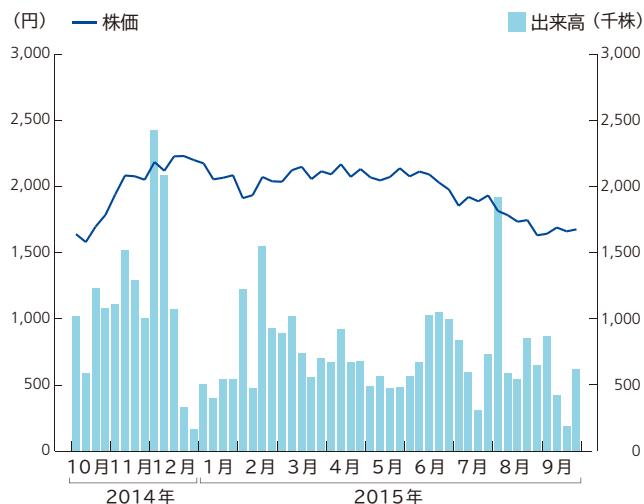
所有者別分布



所有数別分布



株価と出来高の推移



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 基準日 3月31日
開催日 毎年6月
配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
公告方法 電子公告
下記当社ホームページに掲載
(<http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社島精機製作所

〒641-8511 和歌山市坂田85番地

TEL(073)471-0511(代表)

<http://www.shimaseiki.co.jp/>

SHIMA SEIKI、シマセイキ、WHOLEGARMENT、ホールガーメント、MACH2、SSR、SVR、SRY、SDS、SDS-ONE、SDS-ONE APEX、P-CAM、トータルファッションシステムは株式会社島精機製作所の日本及びその他の国における登録商標または商標です。

「紀の国わかやま国体」の式典衣装に ホールガーメント®製品を提供

当社は、2015年9月26日から開催された「紀の国わかやま国体」および「紀の国わかやま大会(全国障害者スポーツ大会)」のオフィシャルスポンサー・サプライヤーとして、ホールガーメントのニットウエアを提供しました。



開会式の炬火点火(写真提供:和歌山県)

県内各市町村を走った集丸ランナーや式典クライマックスで競技場を走った炬火ランナーのベストとハーフパンツ、大会ナビゲーター役の天翔りいらさんの衣装など、ホールガーメントで編成されています。



また、開会式の国旗掲揚時に国歌斉唱を務めた男性ボーカルグループ「ル ヴェルヴェッツ」が着用したタキシードは、当社製品の中で最も細かい編み針で編まれたニット製品です。このようにフォーマルな衣装もニットで提供することで、「ニットはカジュアル衣料」という認識を覆しました。

大会ではホールガーメントを全国にアピールするとともに、地元地域にも貢献することができました。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



この報告書は環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。